

アムンディ・マーケットレポート

英国の金融政策について～インフレレポートと為替相場の行方

- ① 金融政策委員会(MPC)は政策金利を 0.75%に据え置きました。安定したインフレの下で様子見です。
- ② 四半期インフレレポート(QIR)では、インフレ率が下方修正され、利上げの時期は後ずれとなりました。
- ③ EU 離脱を意識した金融政策スタンスから、景気は離脱後比較的早期に持ち直すと予想されています。

利上げ時期はさらに遠のく

イングランド銀行(英中央銀行、以下、BOE)は1-2日のMPCで、政策金利を0.75%に据え置きました。CPIは3月で前年同月比+1.9%、コアは同+1.8%と、目標としている+2%弱でおおむね安定しており、様子見となりました。

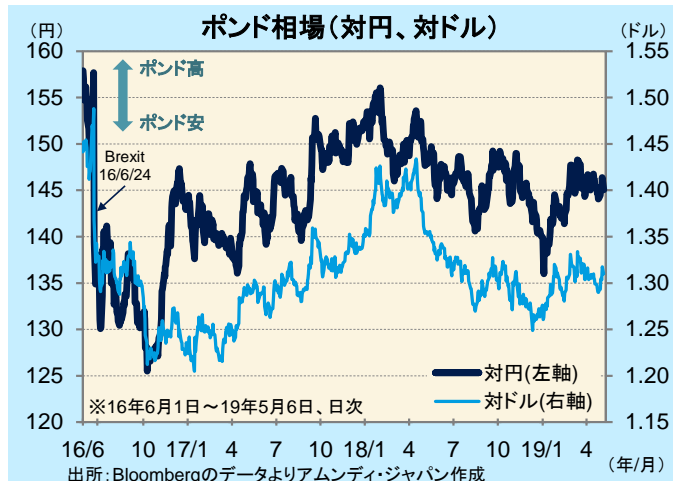
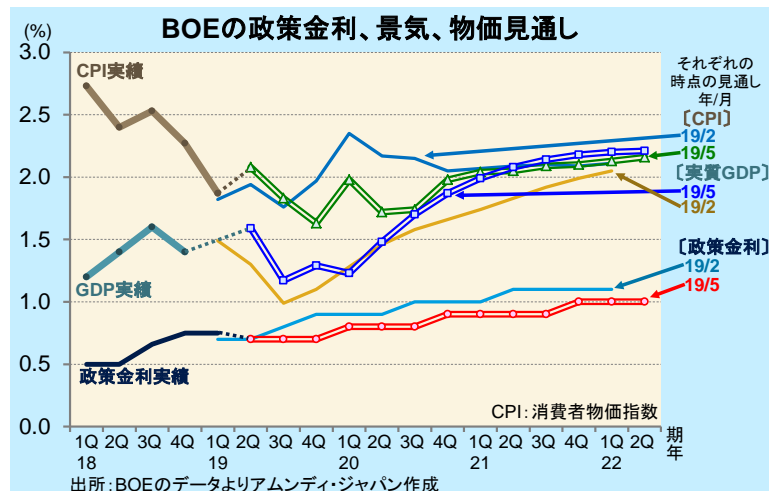
また、同日BOEが発表した四半期インフレレポート(QIR)では、Brexit(英国のEU[欧州連合]離脱)の経済的な影響をBOEが警戒する姿勢が続いている様子がうかがわれました。CPIは、2019年10-12月期以降が下方修正されました。原油安の影響が考慮され、+2%に乗るのは21年以降とされました。これを受けて、政策金利については利上げ時期がさらに1~2四半期後ずれし、2020年末までに利上げできるかどうか微妙な情勢になってきました。

一方、2020年以降は景気の持ち直しが順調に進み、実質GDP成長率は同年後半以降上方修正されました。Brexit後1年が経過し、一時的な景気落ち込みの反動に加え、利上げの後ずれによって、景気が刺激されることを考慮したと見られます。

ポンドは当面材料難も次第に切り上がり

ポンド相場(対ドル)は、2018年夏場以降、1ポンド1.25~1.33ドルのレンジで方向感なく推移しています。足元では、Brexitの期限が10月末まで延期されたことから、相場を動かず材料が国内的には少なくなり、ドルの動きに左右されています。

先行きについては、Brexitは何らかの結論が出ると見込まれること、国内景気が大きく落ち込まないのに加え、米国景気は今しばらく減速傾向が続くことを背景に、ポンドはやや強い展開となり、途中Brexit関連で波乱はあっても、年末までに1ポンド1.35ドル前後へ切り上がる展開を想定しています。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1905020>